

桔梗が丘東小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年5月17日（火）13時20分～16時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 委員の紹介、会長・副会長の選出
- ④ 学校運営の基本方針・教育課程等について
- ⑤ 学校運営協議会運営方針について
- ⑥ 熟議 テーマ「子どもたちの主体性を育成していくために、地域の方との出会いや、地域のことを知る機会をどのようにして持つか」
 - ・児童委員によるあいさつ運動「オアシスレンジャー」の取組
 - ・家庭、地域がそれぞれに「挨拶の種」をまいていく。
 - ・PTAが主体となった取組・・・広報活動を通して啓発していく等
- ⑦ 桔梗が丘中学校区小中一貫教育の推進についての報告

【第2回】学校運営協議会〈令和4年6月27日（月）14時00分～15時30分〉

- ① 議題 子どもたちの主体性を育成していくための地域人材の発掘について
 - ・人材発掘のための情報収集、情報提供について
- ② 生活科、総合的な学習、社会科等の学習における地域と連携した取組について

【第3回】学校運営協議会〈令和4年11月17日（木）16時～17時30分〉

- ① 2学期の児童の活動の様子について
- ② 全国学力・学習状況調査の結果について
- ③ 熟議 テーマ「子どもたちの主体性を育成するために、取組の具体化・継続化をどう進めていくか。」
 - ・「オアシス運動」の活性化に向けて
 - ・「あそびっくす」の活動への子どもたちの参画について
 - ・コミュニティ・スクールカレンダーの作成と活用について

【第4回】学校運営協議会〈令和5年3月2日（木）16時～17時30分〉

- ① 令和4年度学校自己評価に係るアンケート結果について
- ② 令和4年度学校自己評価書について
- ③ 令和4年度学校運営協議会評価書について
- ④ 今年度の学校運営協議会の成果と課題について
- ⑤ 来年度の学校運営協議会での熟議内容について
子どもたちの主体性を育むために取り組みたいこととして、3点を掲げ、来年度の第1回学校運営協議会に向けて、この3点について具体的に何ができるか意見を出し合いました。
 - 子どもたちが、参画できる場の設定
 - 地域貢献の基盤として、子どもたちが地域を知る場の設定
 - 家庭と地域が共にできること
- ⑥ 来年度の学校運営協議会委員について
- ⑦ 小学校における教科担任制について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、参観の感想も含めて、委員としての思い等の意見交流を行いました。
- ② 子どもたちの主体性を育てるために、学校と家庭・地域が連携して具体的にどのように取り組んでいくか、熟議を行いました。
- ③ 保護者・児童・教職員アンケートの結果から見えてきた課題について共有し、意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 登下校ボランティアによる児童の見守り
- ② 読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせ（毎週月曜日）
- ③ 地域で活動している方（ぶどうづくり、公園の環境整備、昆虫類の写真撮影・保全等）からの話（なばり学、生活科）
- ④ 学校周辺の除草作業や運動場の整備



①登下校の見守り



②本の読み聞かせ



③働く方からの話

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域貢献の場づくりのためには、「互いに挨拶を交わせる関係づくりが大事である」ということから、学校運営協議会が立ち上げられた当初から「オアシス運動」に取り組んでいます。オアシス運動の取組として、児童委員による「オアシスレンジャー」が中心となって、取組のチラシを地域回覧するなど、啓発運動を行っています。
- ② 登下校や環境整備、読み聞かせ等でお世話になったボランティアの方々への感謝の会を実施しました。

3. 成果と課題

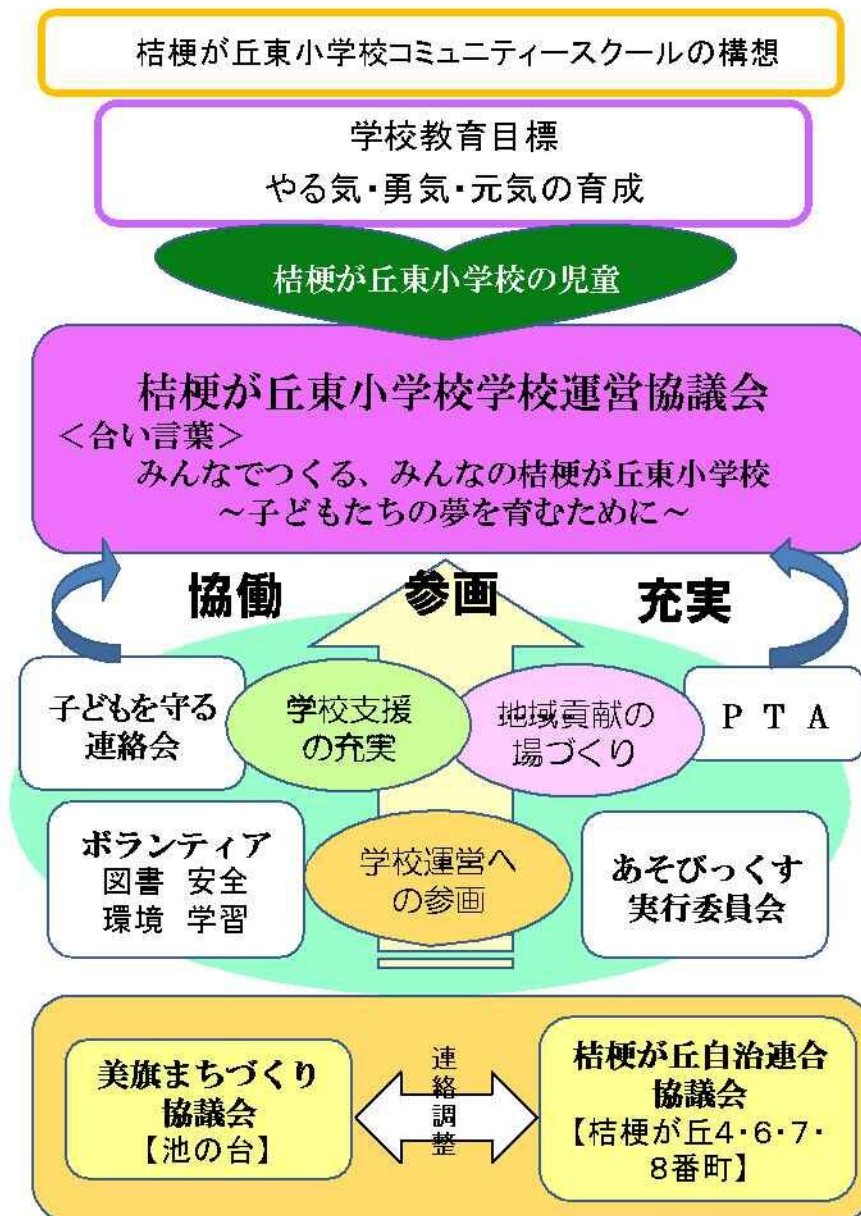
(1) 成果

- ◇今年度も「子どもの主体性の育成」をめざして、学校運営に取り組んできました。本校の特色の一つである「あそびっくす」での活動についても、これまでの子どもの“参加”から“参画”という視点で見ていくことの大切さを確認し合うことができました。
- ◇なばり学等を進めていく上で、桔梗が丘東小学校区内で学べること（自然環境、文化等）がないか、学校運営協議会で課題提起したところ、絶滅危惧種であるニッポンハナダカバチの保全に尽力されている方に出会うことができ、なばり学での学びが深まりました。
- ◇コミュニティ・スクールカレンダーの作成に着手したことで、学校・PTA・地域のそれぞれの活動の関連性を視覚的に把握しやすくなりました。

(2) 課題

- ◆子どもたちの豊かな学び、健やかな成長のためには、育てたい子ども像を学校・家庭・地域全体で共通理解を図り、それに向かって共に活動していくことが大切です。そのためには、実際の活動の場面設定が必要となってくるので、学校運営協議会における熟議の内容・方法の吟味が今後も必要です。
- ◆「地域貢献の場づくり」の第1歩として、まずは、「地域のみんながつながることから始めたい」ということから、「オアシス運動」に取り組んできていますが、今後は、地域貢献の具合的な活動について協議していかねばならないと思います。
- ◆コミュニティ・スクールを推進していくためには、教職員の理解・意思統一が大事です。今後は若手教員が増加することも視野に入れて、教職員一人一人が、コミュニティ・スクール推進の当事者であるという意識を向上していくため、主体的に取組に参画できるよう意図的に働きかけていくことが必要です。

4. 学校運営協議会の組織図



すずらん台小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月3日（金）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委員の委嘱、委員の紹介
- ③ 名張版コミュニティ・スクール及び名張市学校運営委員会規則について
- ④ 会長・副会長の指名および承認、会長あいさつ
- ⑤ 学校運営協議会の推進目標等について
- ⑥ 本年度の学校運営の基本方針等について
 - ・北中学校区小中一貫教育、小中一貫ランドデザイン
 - ・今後の主な学校行事
- ⑦ 本年度の学校運営協議会の取組
 - ・地域連携取組「あいさつ運動」について
- ⑧ その他
 - ・コロナ感染症対応
 - ・学習の森の整備について
 - ・夏休みの図書館開放について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年7月6日（水）13時30分～15時30分〉

- ① 地域連携取組あいさつ運動について
 - ・啓発チラシ作成について
 - ・あいさつ標語募集について
 - ・あいさつ看板について
 - ・あいさつ動画（企画運営委員会撮影・編集）
- ② 夏休みの図書館開放について



①あいさつ運動
運動啓発チラシ



①あいさつ運動
標語募集チラシ



①夏休み図書館開放案内

【第3回】学校運営協議会〈令和4年9月2日（金）13時30分～14時30分〉

- ① 地域連携取組あいさつ運動について
 - ・あいさつ標語応募状況と今後の啓発活動へ
 - ・あいさつ看板（2500 mm×500 mm）を校門前に設置
- ② その他
 - ・夏休みの図書館開放について
 - ・学習の森（森と緑の県民税補助金）



・2学期の行事

運動会、名張市防災訓練の日、人権講演会「ほがらか絵本畑」、学校生活支援ボランティア研修交流会

③ あいさつ標語掲示物作成作業（令和4年9月26日 10：00～11：30）



③掲示用あいさつ標語作成



③掲示用あいさつ標語

【第4回】学校運営協議会（令和4年12月1日（木）14時25分～16時30分）

- ① 人権講演会参観「ほがらか絵本畑 理事長 三浦伸也さん」
- ② 全国学力学習状況調査の結果について
 - ・学校だより特別号
 - ・家庭学習がんばるweekの取組
 - ・ファミリー読書の取組
 - ・PTAみんなで語ろう会「ゲーム・スマホの使用について考えよう」
- ③ 地域連携取組あいさつ運動について

学校だより

 令和4年12月号

〈全国学力学習状況調査結果について〉

① 調査結果の概要

- 学習意欲や学習習慣の定着が、学力向上の鍵を握っています。学習意欲や学習習慣の定着が、学力向上の鍵を握っています。
- 読むこと・書くことの力が伸びています。読書や書写の力が伸びています。
- 5年生になってからの、読書習慣が定着しています。読書の習慣が定着しています。
- 読書の習慣が定着していることが、学力向上の鍵を握っています。
- 読書習慣が定着していることが、学力向上の鍵を握っています。
- ゲームやスマホの使用が、読書の習慣を妨げていることが、学力向上の鍵を握っています。

みんなで読もうませんか？

② 調査結果の概要

調査項目	調査結果	調査結果の概要
読書の習慣が定着している	57.1%	読書の習慣が定着していることが、学力向上の鍵を握っています。
読書の習慣が定着していない	42.9%	読書の習慣が定着していないことが、学力向上の鍵を握っています。
読書の習慣が定着している	57.1%	読書の習慣が定着していることが、学力向上の鍵を握っています。
読書の習慣が定着していない	42.9%	読書の習慣が定着していないことが、学力向上の鍵を握っています。

②学校だより 学力特別号

第2 家庭学習がんばるウィーク

 (希望小紙/ゲーム/カードのとり組み)

① 学習する特別号

- 「読書の習慣が定着している」 (ゲーム/カード)
- 「読書の習慣が定着していない」 (ゲーム/カード)
- 「読書の習慣が定着している」 (ゲーム/カード)
- 「読書の習慣が定着していない」 (ゲーム/カード)

② 調査結果の概要

③ 調査結果の概要

④ 調査結果の概要

⑤ 調査結果の概要

⑥ 調査結果の概要

⑦ 調査結果の概要

⑧ 調査結果の概要

⑨ 調査結果の概要

⑩ 調査結果の概要

②家庭学習がんばる Week



②すずらん台作品展標語掲示



②すずらん台各区掲示板



②学校運営協議会委員による
あいさつ運動



②学校だより
あいさつ特集号

【第5回】学校運営協議会〈令和5年2月24日（金）18時30分～20時〉

- ① 本年度の総括と次年度に向けて
- ② 学校運営協議会評価について
- ③ 次年度委員について
- ④ あいさつ運動について
- ⑤ その他 学森整備について、創立40周年について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1) 【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 児童の日常や実態について共有し、解決策について協議しました。
- ③ 学力テストの結果を共有し、その結果をもとに現在進めている学校の取組を共有し、ご意見をいただきました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



①授業参観

(2) 【学校支援の充実】

- ① 運動会や野外活動における準備や片づけに地域のボランティアの皆さんの協力いただきました。
- ② 昔遊び集会・焼きも大会へボランティアとして地域の皆さんに協力いただきました。
- ③ 日頃から、快適な学校環境づくり（草刈り・剪定・グリーンカーテン）に地域のボランティアの皆さんに協力いただきました。
- ④ 図書ボランティアが、図書室の蔵書の整理や一冊一冊の本のクリーニング作業をすすめていただいています。
- ⑤ すずらん台地内の町探検、すずらん台のキラキラさん、ボランティア体験において、校区内の施設を訪ねることで、人との出会いから、生き方や仕事について学ばせていただきました。



①学校運営協議会



①キャンプファイヤー準備



②イモ植え



②昔あそび



③校門前植え込み整備



④図書室ボランティア



⑤お店探検

- ⑥ 学校ですすめている「あいさつ運動」に、町づくり協議会と学校運営協議会とが協働して取り組み、啓発看板の設置をはじめ予算的な協力や実働的な協力を得ながら進められています。また、地域の方から挨拶をいただいた児童がその体験を基に作文を書き、地域の方々に渡すことができました。地域の方々からは、子どもたちの元気な挨拶について好意的な声をいただいています。

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 2年ぶりに開催を計画された「すずらん台夏祭り」(実際には花火大会のみ開催)のポスターを児童が作製したり、町づくり協議会依頼のアンケートに児童の考えを書いたりという取組を行いました。
- ② 全校児童が敬老の日にあわせて、メッセージを書きました。
- ③ すずらん台まちの保健室と協働し、4年生で認知症サポーター養成講座を開き認知症のことを知ったり、認知症の方と接したりする方法について学びました。
- ④ 4年生がボランティア活動で学んだ成果等を校内の集会で発表し、その様子を動画で撮影したものを地域内の高齢者施設の皆さんに見ていただきました。(コロナ禍のため直接の交流は避けています。)
- ⑤ 名張市防災訓練の日に、地域の代表が本校体育館において「電話機設置訓練」「照明器具設置訓練」を行いました。



①夏祭りポスター



③認知症サポーター養成講座



④ボランティア説明会講座



⑤防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

(教職員にとって)

◇学校行事や環境整備等に精力的に支援していただいているので、教職員がゆとりを持って子どもたちに関わることができました。

(子どもたちにとって)

◇夏季休業中の図書館開放では、学校運営協議会の委員が管理者となり、スムーズに運営することができました。今年度は学校司書にも協力いただき「読書感想文の書き方」について教えていただくこともできました。

◇地域連携取組「あいさつ運動」を具体的にスタートさせることができました。小学校のあいさつ運動と連携させながら、町づくり協議会の理解や支援を得ることができ、「あいさつ看板の設置」「あいさつチラシ作成」「あいさつ標語募集と地域内掲示」などの取組が進みました。その結果、地域内に浸透し始め、あいさつを通して児童と地域の皆さん・学校と地域がつながるきっかけとなっており、「子どもたちのあいさつの声が増えた」「朝から大きなあいさつを聞くと元気が出る」などの子どもたちの姿に対する肯定的な声も届いています。

(地域・ボランティアにとって)

◇学校や学校運営協議会発信の取組ですが、長く継続することで、地域に根付いた地域住民相互の安全安心につながる運動となるように考えています。(地域貢献)

◇「あいさつ標語」の取組では、北中校区小中一貫の「あいさつ運動」と絡めて、北中学校に協力いただき、すすらん台地区に住む小中学生に募集をかけ多くの作品が集まりました。運動に参加した児童生徒のみならず、地域住民への啓発にもつながりました。

◇長年の課題である、家庭でのゲームやスマホ等の使用について、「PTAみんなで語ろう会」において、このことをテーマとして、話し合いの第一歩を踏むことができました。

【課題】

◆新規で登録いただいたボランティアの方は少数で、ボランティアの方が固定化している現状にあります。

◆すすらん台の子どもたちの姿と地域の将来像を考える中から、「あいさつ運動」が息の長い、学校・地域みんなの取組となるための方策を考えることが必要です。

◆家庭学習やゲーム・スマホの使い方についての課題を示しながら、家庭と学校とが共に考え取り組む気運が高まるようにする必要があります。

◆地域内での次世代育成が課題ということを目にする機会が多くなっています。地域内だけの課題ではなく、学校運営協議会組織としても大きな課題となってくるのではないのでしょうか。

4. 学校運営協議会の組織図



梅が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月28日（火）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委員の委嘱
- ③ 学校運営協議会規則について
- ④ 委員の紹介および会長・副会長の選出について
- ⑤ 本年度の学校運営の基本方針について
- ⑥ 熟議「防災訓練の実施に向けて」

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月13日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 子どもたちの様子と今後の行事等について（情報共有）
- ③ 熟議「防災訓練の実施を通して、地域防災について考える」

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月16日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 本年度の学校運営の成果と課題
- ③ 学校評価書について
- ④ 熟議「めざす子ども像の実現に向けて【学校評価】」
- ⑤ 来年度の運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 授業参観の後、子どもたちの様子について、意見をいただきました。
- ② 学校の課題を共有し、意見をいただき、理解を得ることで学習支援など地域の協力を得ることができました。
- ③ 学校と地域が協働して行う防災訓練を実施した。防災訓練に向け、運営協議会で熟議を行い、「子どもたちにどのような力をつけるか」「保護者・地域がどのようにかかわっていくか」についてのアイデア出しと、今後、継続して活動をしていくために地域防災について意見交流をすることができました。
- ④ 熟議で交流した意見を防災訓練の計画に組み込み、学校と地域が連携した防災訓練を実施することができました。



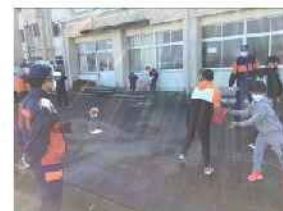
①授業参観



①学校課題の共有



③熟議



④防災訓練

(2)【学校支援の充実】

- ① 読書ボランティア活動による本の読み聞かせ
- ② 地域学校協働カリキュラムの実施、支援（校区探検、キャリア教育、防災教育）

- ③ 昔あそびなどを地域の方々と交流する梅小交流会・わいわい広場の実施、支援
- ④ プール学習実施における見守り活動などの支援



②地域学校協働活動
カリキュラム



③梅小交流会



④プール学習支援

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 地域学習に取り組むことにより、地域の人・もの・ことを知り、地域の方の思いについて学ぶことができました。
- ② 子どもたち対象の地域イベントに子どもたちの多くの参加が得られました。
- ③ 学校と地域が協働する形での名張市総合防災訓練を、今年度初めて実施することができました。



①地域活動見学



②地域イベント



③地域と協働した防災訓練



3. 成果と課題

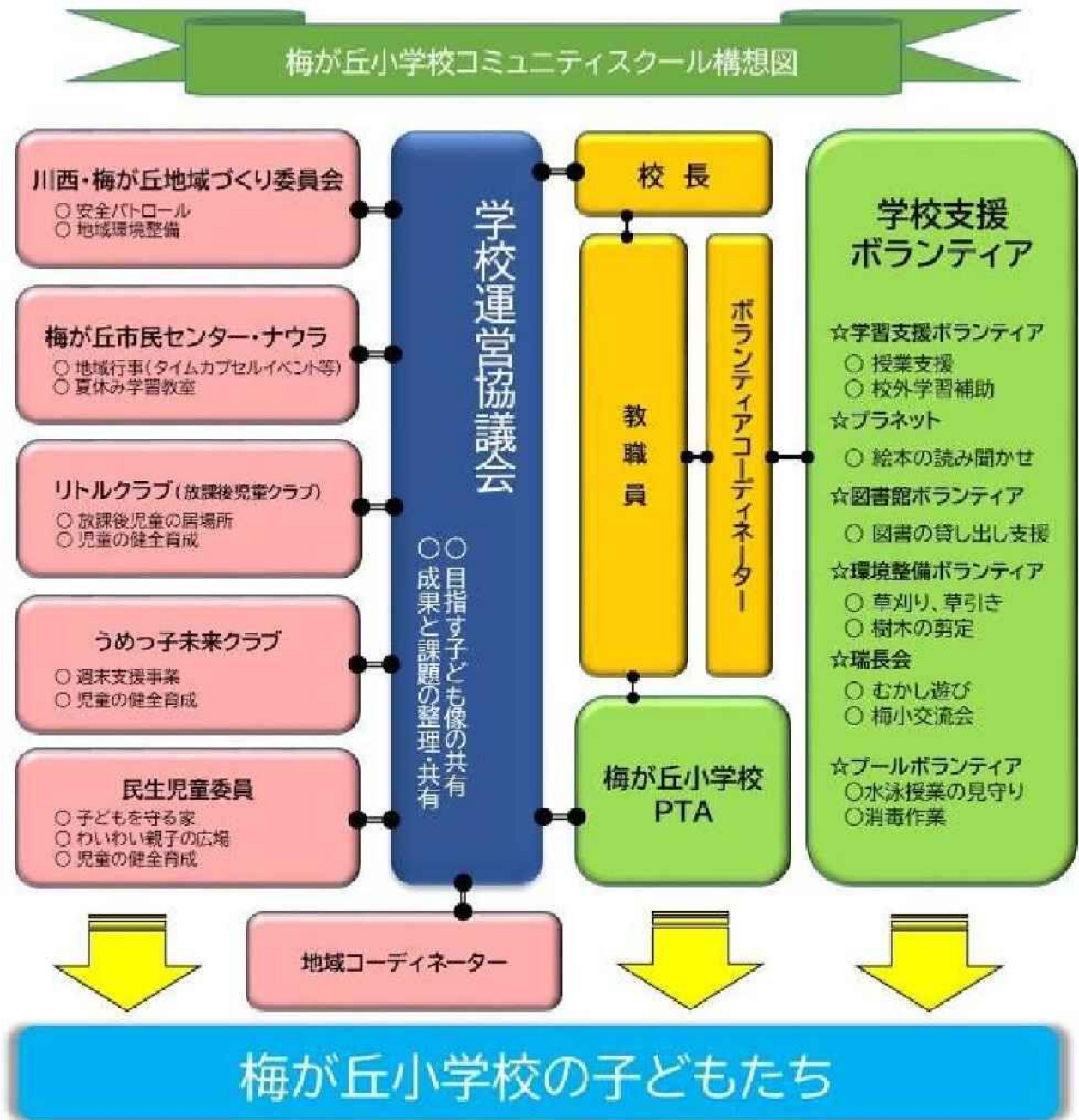
【成果】

- ◇授業参観をしていただき、感想や意見をいただくことができました。
- ◇学校の実情を知っていただき、支援や協力をいただけるようになりました。
- ◇人材バンク作成に理解・協力を得ることができました。
- ◇授業参観、防災訓練などから児童の状況を共有することができました。
- ◇新型コロナウイルス感染症対応化の中、プール水泳の見守りや消毒作業など状況に応じた学校支援をしていただきました。
- ◇地域の人材をゲストティーチャーとして招き、学校と地域が協働して行う地域学校協働カリキュラムが実施できました。
- ◇防災訓練を実施するにあたり、熟議を通して防災訓練計画を立案し、地域と協働した防災訓練を行うことができました。

【課題】

- ◆学校の様子をホームページや掲示物等を利用して積極的に発信すると共に、市民センターやコミュニティプラザウラなどと連携し、さらに活気ある学校運営に向けての取組をしていきたい。
- ◆地域と学校が協働した取組を始めているところではあるが、継続した取組となるよう努めていく必要があります。
- ◆スクール・コミュニティの仕組みづくりに向け、学校運営協議会や地域コミュニティ理事会の場で思いを共有する取組を続けていきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



百合が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月10日（金）18時30分～19時30分〉

- ① 委嘱状交付
- ② 名張市学校運営協議会規則について説明
- ③ 委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ④ 協議：・本年度の学校運営の基本方針について
・学校運営協議会の運営と組織等について
・令和4年度学校経営方針等について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月6日（木）16時30分～17時30分〉

- ① 協議：・学校運営協議会の組織の改編について
- ② 小学校より：・来年度の学校行事について

【第3回】学校運営協議会〈令和4年11月10日（木）13時30分～15時〉

- ① 支援活動の報告
- ② 授業参観
- ③ 協議：・「子どもたちにつけたい力(百合が丘小学校の子どもたちの将来を見据えて)」
(本日の児童の様子から、赤目中学校ブロック小中一貫教育の取組、保護者・地域の方の取組)

【第4回】学校運営協議会〈令和5年2月16日（木）15時30分～17時〉

- ① 学校評価アンケートについて
- ② 協議：・家庭教育講座について
・人権教育総合推進地域事業について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校教育目標を説明するとともに、本年度の学校運営の基本方針について意見をいただきました。
- ② 授業の様子を参観していただいた後、現在の児童の様子をふまえ、百合が丘小学校の子どもたちにどんな力をつけていく必要があるのかについてご意見をいただきました。様々な意見をいただいた中で、子どもたちにはもちろんだが、家庭教育力が大切であり、地域の人がみんな子どものことを考える地域であってほしい、という意見が出され、そんな取組をしていく必要があることを確認されました。



①学校運営協議会



②授業参観

(2)【学校支援の充実】

- ① 昨年度まで縮小していたほめほめ隊による学習支援を5月からお願いしました。快く引き受けていただき、教室での学習支援や家庭科を主とした学習支援、図書ボランティアによる読み聞かせや折り紙教室、下校見守り隊による児童の見守り等も支援をいただきました。また、プール水泳も再開されたことにより、プール監視や技能支援もしていただきました。
- ② 授業や校外学習等で、ボランティアの方々による、児童の引率支援や学校駐車場付近の安全確保などについて協力いただきました。



①学習支援



①読み聞かせ



①折り紙教室



①プール監視・技能支援



②校外学習等による支援（芋ほり、稲刈り、ブドウ狩り）

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 11月に行われた地域フェスタで、ミニ運動会が開かれた際、小学校にある玉入れの玉や籠、手裏輪の道具などを使用していただきました。保護者とともに参加する児童が大勢おり、特にミニ運動会では、地域の方と児童がともに活動することで交流が行われ、地域の方にも喜んでいただくことができました。
- ② 5年生が春には田植え、秋には稲刈りと地域の方々にお世話になったので、感謝の集いを体育館にて行いました。運動会でのソーランと音楽会での合唱を披露し、地域の方に感謝の思いを伝えました。地域の方からは、「子どもたちの元気な声を聞く

のが喜びです。」「今年はみなさんがかかしを2体作ってくれて、田んぼでそれを見るのが楽しみでした。」「この稲作体験を通して地域の私たちとみなさんが触れ合えることが幸せです。将来、みなさんがふるさとを自慢に思ってもらえると嬉しいです。」など、感想が聞かれました。

3. 成果と課題

【成果】

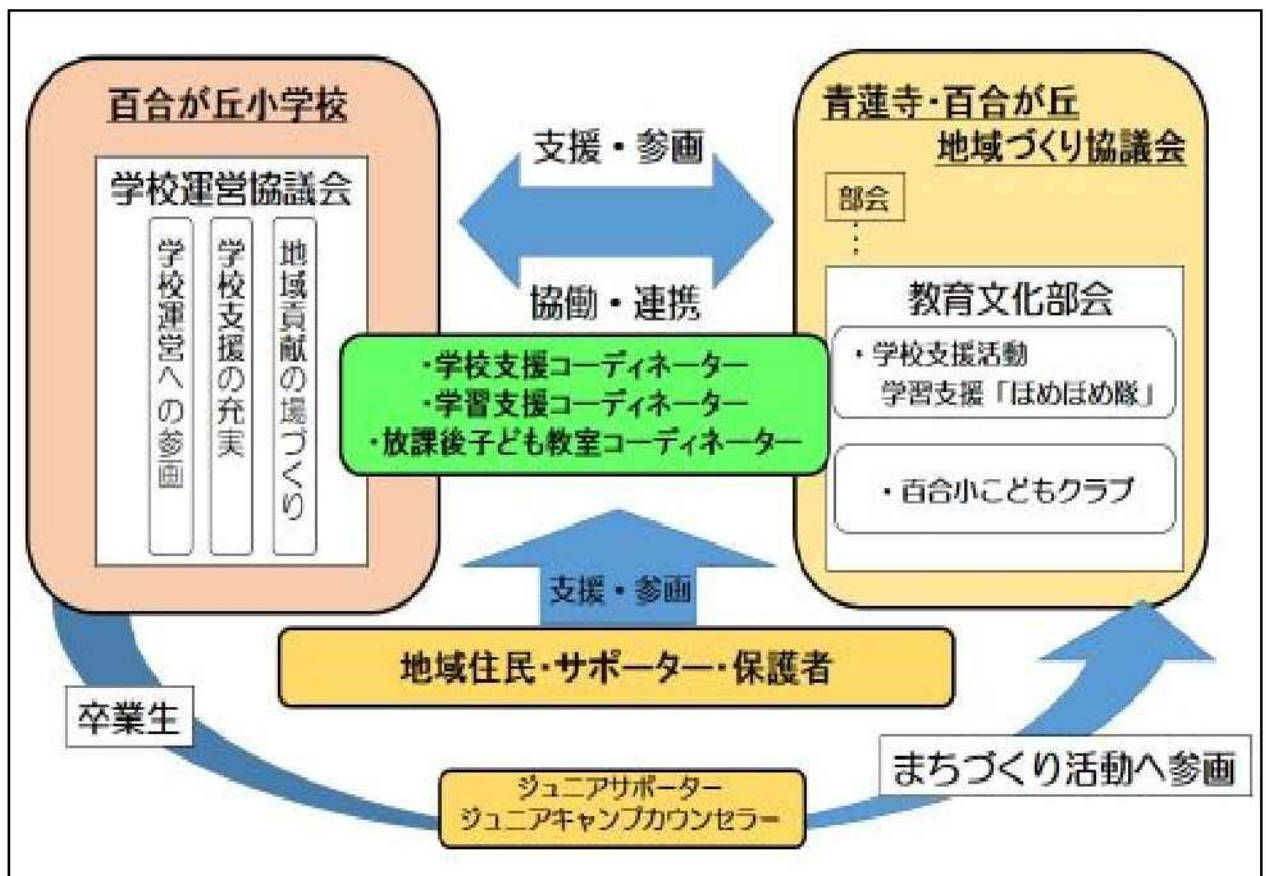
◇本校は、日々、多くの地域の方や保護者の方に支援をいただいている学校ですが、今年度は運営協議会委員の組織を明確にし、それぞれの立場で活動を進め、報告していただくように改めました。また、支援カレンダーを用いて、活動の流れを明確にすることに努めました。

◇今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を可能な限り講じたうえで、地域の方による支援をほぼ以前通りにお願いしました。学習支援だけではなく、プール水泳の授業にも多くの支援をいただき、児童も職員も大変助けていただきました。校内で感染拡大がみられた時期は、支援のお願いを一旦自粛していただくなど、臨機応変な対応に努めました。

【課題】

◆学校運営協議会当日は各委員の意見交流にとどまりがちで、テーマについて議論が深まりにくい面が見られました。進行役の副委員長との事前打合せを丁寧に行うなど、会の進め方を改善する必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



名張中学校

1. 学校運営協議会の開催

◎年間計画を作成し活動しました。

R4名張市立名張中学校 CS 年間計画表

項目	内容	その他	学校行事
4月			始業式・入学式
第1回CS会議 (21日 10:00~)	① 委員の委任について ② 学校運営協議会会則について ③ 委員紹介、会長・副会長選出 ④ コロナ禍における学校生活の様子について ⑤ 学校経営方針及び学校経営計画の承認について ⑥ 事業内容について ⑦ その他	【放課後寺子屋】 〈昨年度からの申し送り・課題〉 ○昨年ボランティアに引き続き依頼していく。 ○補充学習だけでなく居場所作りの活動をどのように入れていくか。 ○居場所作りの活動内容の検討 ○参加生徒数	中庭テスト 卒業学力・学習状況調査 名張市総合体育大会
5月		【名張市総合防災訓練と連携した避難訓練】 〈昨年度からの申し送り・課題〉 ○地域差を考慮した活動内容の発表 ○Wi-Fi 環境があるなしにかかわらず、タブレットを使用してやりとりをする際の問題 ○地域の 11 月 19 日の防災訓練の計画の確認 ○避難訓練該当地区生徒の準備。 ○地域の中で中学生が貢献できる自身の検討 ○まちづくりの代表との協議を重ねて、できる事を検討	
6月		準備スタート	体育祭 期末テスト 修学旅行(3年)
7月			終業式 中体連伊賀大会・三重県大会
8月		【放課後寺子屋】 2週目より実施予定	始業式
9月	【取り組み内容】 放課後寺子屋 ○週に1回程度、本校図書室にて、完全下校までの1時間程度、数学や英語等の補充学習を行う。	【放課後寺子屋】 2週目より実施予定 -新型コロナ感染症拡大を受け延期	
10月	① 名張市総合防災訓練と連携した避難訓練について ② その他	11日 15:00~各教室、16:00~図書室 20日 18:00~図書室	文化発表会 中庭テスト
名張市総合防災訓練と連携した避難訓練(19日)	【目的】 ○生徒が地域の避難場所に行くことにより、避難場所を確認するだけでなく、その地域の方々と交流を行う。 【内容】 ○中学生を災害時に活躍できる人材へと育成を図る。 ○出席を確認する。 ○避難活動等を地域の方と行う。また、地域の課題等の共有を行う。	10日 18:00~図書室 15日 15:00~各教室、16:00~図書室 17日 15:00~各教室、16:00~図書室 18日 15:00~各教室、16:00~図書室 17、18日-新型コロナ感染症拡大を受け延期	期末テスト 避難訓練
11月 第2回CS会議 (28日) 14:35~15:25 授業参観 15:30~16:30 運営協議会 -新型コロナ感染症拡大を受け延期		19日 東郷	
12月		1日、8日 16:00~図書室-新型コロナ感染症拡大を受け延期	終業式
1月			始業式
第3回CS会議 (後日連絡)	① 本年度の実施結果及び成果と課題 ② 学校自己評価について ③ 来年度に向けて ④ その他		学年末テスト 三重県立高校前期選抜
2月			
3月			卒業式 修了式 三重県立高校後期選抜



学校運営協議会

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1) 【学校運営への参画】

〈学校経営計画の確認と学校教育目標変更の意見交流〉

第1回学校運営協議会では、資料だけでなくICTを活用し、名張中学校の様子や昨年度CSの取組を紹介し、本年度の学校運営の基本方針や学校経営計画を確認しました。また、2月に行われた第3回学校運営協議会で意見交流を行いました。

名張中学校 学校経営 グランドデザイン

名張市のめざす教育
夢をはぐくみ、心豊かで元氣な「ばりっ子」

(学校教育目標)
自己と社会のよりよい未来を、仲間とともに創造する子どもの育成

名中堅
 ◎子どもへの愛
(子どもを一人にしない。子どもの夢をあきらめない。)
 ◎職員間の愛
(職員を、仲間を一人にしない。)
 ◎来校者・家庭・地域の方への愛
(挨拶・感謝・おもてなしを忘れな

めざす子ども像
 ◎自分を認められる子
 ◎人を大切にできる子
 ◎変化を乗り越えられる子
 ◎責任をこなす子
 ◎よりよい未来を創造する子
 ◎伝統を重んじ引き継ぐ意欲がある子

(めざす学校像)
**どの子ども生き生きと輝く学校
なにげない毎日が幸せと感ずることができる学校**

夢をゴールに!

全教科・領域の授業で「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業を展開し、一人一人の学力保障を目指します。

心豊かに!
 人権・同和教育、道徳教育を通して、人間性豊かな子どもを育成します。

自ら進んで!
 生徒の自主的・自治的活動を推進し、生徒自らの手で学校生活をよりよくしようとする態度の育成に努めます。

自分と異なる考えを尊重し、新たな自分を見いだすことに“楽しみ”を感じることができる生徒の育成
研究主題 ~“深める学び”のある道徳科の授業を通して~

多様なニーズへの対応!
 校内委員会、通級指導、教育相談の担当を中心に、生徒の多様なニーズに対応するしくみを構築するとともに、指導力の向上を目指します。

安全・安心を!
 安全・安心で快適な学校生活を送ることができる学習環境を整えます。

徹底した生徒理解!
 生徒指導や教育相談の充実を図り、生徒が安心して過ごせる学校の風土を醸成させます。

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育の委員と学校の教職員や生徒代表が共に、めざす子ども像の実現のための具体的な方策を打ち出します。

・地域と連携した防災訓練 ・名中寺子屋

(2) 【学校支援の充実】

〈名張中学校寺子屋〉

教育課程外となる放課後において、可能な範囲で、地域の方々のお力を借りて、生徒の学びや居場所づくりの支援をしていただくことで、めざす学校像である「どの子ども生き生きと輝く学校」「なにげない毎日が幸せと感ずることができる学校」の実現を目指しました。今年度は週一回だけではなく、テスト期間の教育相談の時間を利用し、寺子屋支援ボランティアの皆さんに校内を巡回していただき、教室内で学習している生徒に声かけや学習支援を行っていただきました。

-53-

活動内容

- ① 補充学習として、週一回程度、放課後、本校図書室において学習等の支援を行っていただきました。（教科の学習を苦手としている生徒への支援）
- ② 学習支援ではなく、図書室に居ていただき、可能な時には、生徒の思いや悩み等を聞いていただくなど、生徒の心の居場所づくりの支援をしていただきました。



①・② 補充学習および心の居場所づくり支援

(3) 【地域貢献の場づくり】

<在宅時での災害を仮定した防災訓練について>

1 日 時 令和4年11月19日（土）

2 目 的

- ・生徒自らが、災害時に避難する一時避難場所や市が指定する避難場所を確認する。
- ・生徒が、予測不能な災害に対し、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として自分の安全を確保したうえで、災害時に積極的に活躍できる人材になることの大切さを知る。
- ・防災教育の中で、災害時に地域の一員として地域に貢献できる人材を育成する一歩とする。
- ・学校側が、生徒の登校前や下校後の災害時に生徒の安否確認をする資料を作成する。

3 活動内容

(1) 地震発生 ・自分の身の安全を確保する。

(2) 一時避難場所に移動

倒れてくる壁などを想定しながら移動する。

地域の方に出会った時には挨拶をする。

タブレットを必ず持参し、一時避難場所の写真撮影をする。

(3) 市指定避難所に移動

避難経路で危険だと思われる場所の写真撮影をする。

市指定避難場所で名張中学校の担当教員から出欠確認を受ける。

市指定避難場所の写真撮影をする。

(4) ワークシート等作成

ワークシート①を仕上げ、11月19日(土)の12時までに、ロイロノートで、学校に提出する。

防災ビデオを視聴し、ワークシート②に取り組み、提出する。

防災新聞を作成する。



防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

〈学校運営〉

◇本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらではありますが、学校運営協議会の意見も伺いながら、各学年の合唱コンクールの様子を保護者参観できるようにしたり、授業参観を開催して保護者に生徒の様子をみていただいたり、できる限り学校を開くように進めることができました。

◇今年の学校運営協議会では、昼休みの時間を利用したボランティアによる居場所づくりができないか熟議することができました。

◇生徒の制服を新たに導入するため、学校運営協議会委員からも協議に参加していただき、積極的にご意見をいただきました。

◇第2回の学校運営協議会は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、残念ながら一堂

に会しての開催ではきませんでした。個別に連絡を取り合うことで情報共有を図りました。第3回の学校運営協議会においては、全国学力・学習状況調査や、みえスタディ・チェック等の結果等も踏まえ、現状や課題を共有するとともに、来年度の活動がスムーズにスタートできるように、共通理解を進めことができました。

〈学校支援・寺子屋〉

- ◇教科の学習を苦手としている生徒への支援を行うことができました。
- ◇テスト期間中は二部制にし、一部では校内を巡回することで、学校全体の生徒の様子を把握することができました。後半は通常の実践を行うことで、充実した学習支援につながりました。
- ◇地域の方が学習支援だけでなく、ハンドマッサージなど生徒と関わるができる内容・活動を活かし、生徒と交流する場面を設けることができました。また、英会話の活動も取り入れ、地域の方とともにコミュニケーションを図ることができました。

〈地域貢献・防災訓練〉

- ◇各地域に分かれての避難訓練は、子どもたちと地域の方々との間につながりが生まれ、開かれた学校づくりの一つとなりました。
- ◇子どもたちが、防災についての意識を高めたり、地域の防災について考えたりできる機会になりました。
- ◇子どもたちが今住んでいる地域の防災について知ることは、これから起こる可能性のある地震をはじめとする災害に備える上で、大きな効果があったと思われます。子どもたちにとっては、学校よりも地域にいる時間が長いため、地域での防災訓練は非常に大切であると考えています。
- ◇防災新聞を作成することで、地域にも危険箇所などの発信もできました。

【課題】

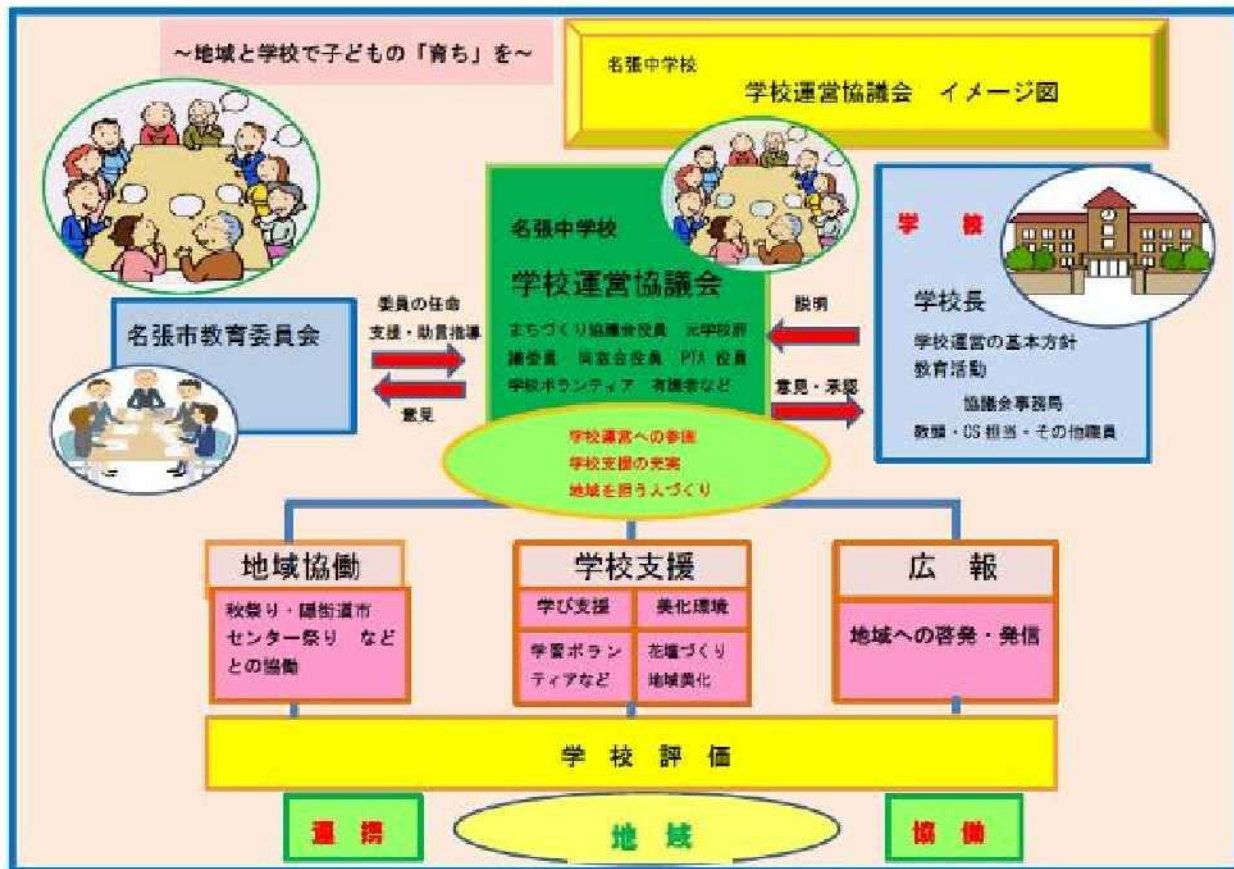
〈学校支援・寺子屋〉

- ◆学習支援が中心になってしまい、生徒の居場所づくりの支援をしていただく機会がなかなか持てなかった。今後そのような機会を寺子屋という枠を超えて、引き続き持つ模索していく必要があります。
- ◆ハンドマッサージは好評で生徒も多く参加が見られましたが、1時間の中では体験できる人数に限りがあるため、何らかの工夫が必要です。今後は、別の支援の方法も検討していく必要があります。

〈地域貢献・防災訓練〉

- ◆防災訓練当日の朝、8：35までの出欠確認(安否確認)ができていない生徒への連絡が難しく、家庭連絡ができない生徒や繋がらない生徒の安否確認に時間がかかりました。実際に災害が起きた場合は、今回実施したような安否確認の方法は取れないことも想定されます。実際に起こった場合にどのように安否確認を学校として行っていくかを検討していく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



赤目中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年5月31日（火）19時～21時〉

- ① 学校運営協議会について
 - ・名張市学校運営協議会規則説明
 - ・委員の紹介及び会長、副会長の選出
 - ・学校運営協議会の運営と組織について
- ② 学校運営についての協議
 - ・令和4年度学校運営の基本方針について
 - ・各種担当について
 - 赤目中学校区人権教育推進協議会委員、通学路合同点検代表者
 - ・各地区行事等への中学生の参画
 - 中学生作品の市民センター等への展示
 - 名張市防災訓練（11月19日）での中学生の地域防災組織への参画

【第2回】学校運営協議会〈令和4年6月28日（火）19時～21時〉

- ① 地域への広報について（作品展示）
 - 2学期はじめ（予定9月16日（金）～9月26日（月））
 - 3学期はじめ（予定1月13日（金）～1月23日（月））
 - 場所 錦生地区…名張錦生ふるさとパーク 赤目地区…赤目市民センター
 - 箕曲地区…箕曲小学校 百合が丘地区…百合が丘市民センター
- ② 地域防災訓練について
- ③ 各地区行事等への中学生の参画

【第3回】学校運営協議会〈令和4年9月1日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観（全学年）
- ② 学力調査について
- ③ 作品展示について
- ④ 地域防災訓練について
- ⑤ 各地区行事等への中学生の参画について

【第4回】学校運営協議会〈令和4年10月21日（金）15時30分～16時50分〉

- ① 文化発表会（3年生合唱コンクール）参観
- ② 地域への広報について（作品展示）
 - ・1回目の展示の反省
 - ・2回目の展示へのアナウンス【1月13日（金）～1月23日（月）】



②作品展示

③ 地域防災訓練について

各地区当日の活動

- 【錦生地区】 市民センターにて、ハザードマップ確認、その後土嚢づくり
- 【赤目地区】 三角巾・避難道具使用説明、消防隊による消防活動
- 【箕曲地区】 消防隊による消防活動、バケツリレー体験
- 【青蓮寺・百合が丘地区】 看護学校生による救急手当講習等

④ 各地区行事等への中学生の参画

・各地域行事の情報交流

- 【錦生地区】 11月16日 文化祭
 - 【赤目地区】 11月20日 赤目まつり
 - 【箕曲地区】 12月3・4日 箕曲まつり
 - 【青蓮寺・百合が丘地区】 11月5日 地域フェスティバルへの参画
- *上記地域活動への中学生の参画を今後地域と連携し推進していく

【第5回】学校運営協議会〈令和4年12月6日（火）19時～20時〉

① 地域防災訓練への中学生の参加について（今年度反省）

・令和4年11月19日（土）事後反省

- 【錦生地区】 計画通り実施
- 【赤目地区】 計画通り実施
- 【箕曲地区】 計画通り実施
- 【青蓮寺・百合が丘地区】 計画通り実施



①地域防災訓練

- ・生徒と地域の代表者との連絡がうまくいかないところが少しあった。
- ・中学生が参加することで地域が活性化し、防災意識の向上につながった。
- ・中学生が小学生の案内や安否確認のサポートをしっかりとやってくれていた。
- ・次年度各地区の計画を一覧表等にまとめ周知していきたい。（各地区とも可能）
- ・次年度は事前に中学生と地域班長（一時避難所）との打ち合わせを設ける。

② 3学期に向けて

各市民センター等へ中学生作品展示

③ 学校評価について

【第6回】学校運営協議会〈令和5年2月21日（火）19時～21時〉

① 今年度の活動について（反省）

② 学校評価について

③ 次年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員から、生徒につけていかなければならない力についてご意見をいただき、目指す生徒像を共有しました。
- ② 学校課題について共有し、解決策についてご意見をいただきました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により、登下校の見守りや、部活動支援（外部指導者）、体育大会前のグラウンドの整備（草刈り）といった行事に対する支援等、多くの方々にご協力いただきました。
- ② 学校運営協議会として連絡網を確立し、さらなる学校の情報共有を行うことで、学校教育活動にご協力いただけてきました。

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 学校だよりの地域回覧を進めることで、コミュニティ・スクールの推進に学校と地域が一体となって取り組む機運の醸成に努めました。また、地域の方々がボランティア活動に取り組む際の選択肢の一つとして「学校」があることを、学校だよりを通じて周知しました。
- ② 中学生の地域行事への積極的な参加につながるように、地域行事に関わる様々な情報を学校運営協議会で共有しました。
- ③ 各市民センター等に生徒の作品展示を行うことを通じて、地域の方々の生徒理解を進めました。
- ④ 地域清掃活動を行い、生徒各自の地域の一員としての意識高揚を図りました。

3. 成果と課題

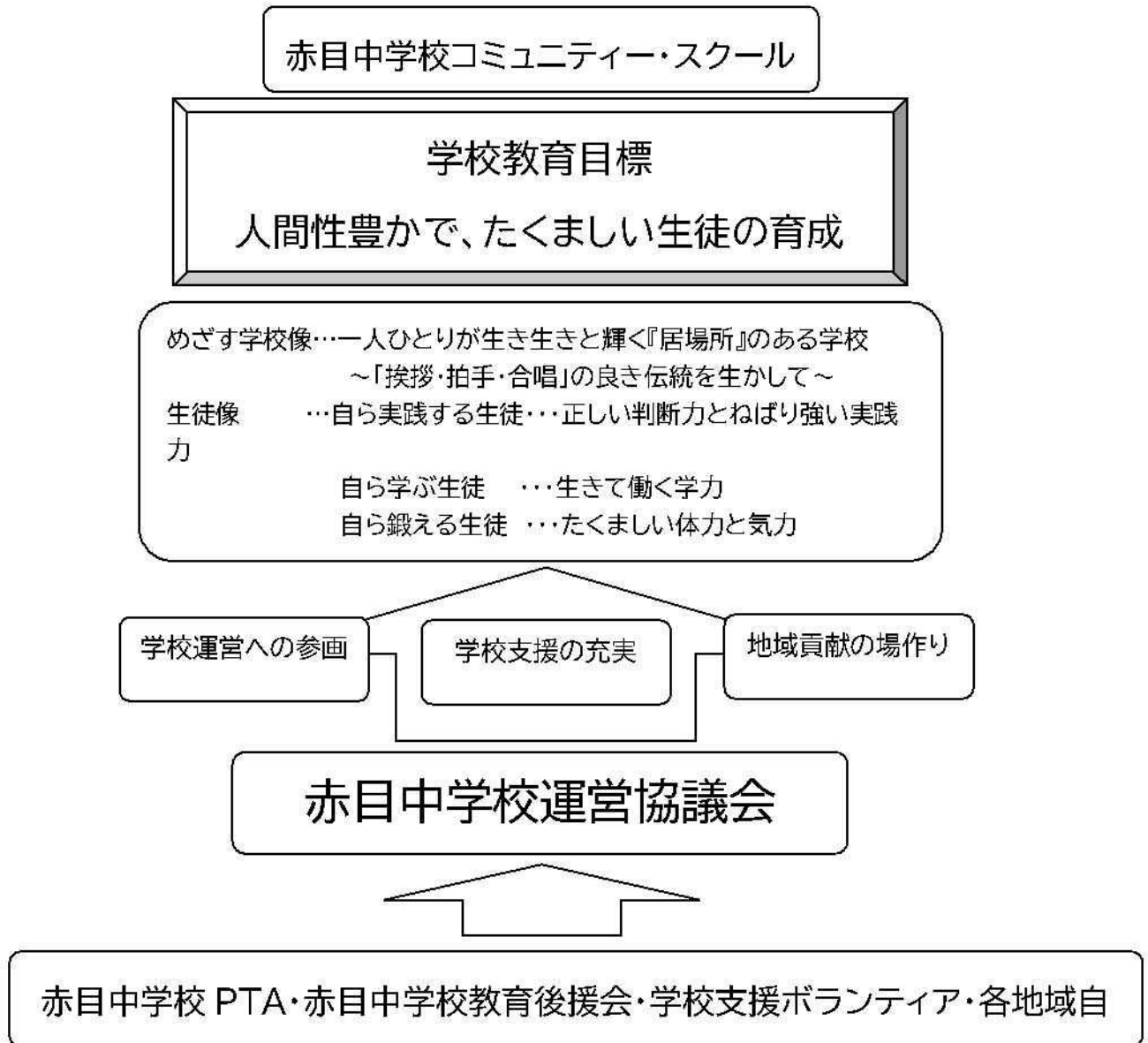
【成果】

◇学校の情報を学校運営協議会で共有し地域会議での発信や通信、ホームページ等でアナウンスすることで、地域の方と中学生の交流が増えました。また、防災訓練等、中学校が関わることで、地域の活動の活性化につながりました。

【課題】

◆学校が地域へ学校の様子や生徒の様子を更に発信し、ICTの活用やキャリア教育等、地域の方から様々なアイデアや学習資源等を提案いただくといったように、学校運営に参画していただき、地域とともに学習を推進していき、地域から信頼されるように今後も取組を発展させていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月17日（金）13時20分～15時30分〉

- ① 委員委嘱
- ② 委員の紹介および会長・副会長の選出
- ③ 学校見学・学校の様子
- ④ 令和4年度学校運営の基本方針について
小中一貫教育の進捗状況について
- ⑤ 名張市防災訓練について
第2回学校運営協議会での熟議について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月20日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 現在の学校の様子について
- ② 11月19日（土）に行われる防災訓練について
- ③ 熟議 「桔梗が丘中学校の特色ある行事や取組について」

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月27日（月）13時30分～15時30分〉

- ① 令和4年度学校運営の成果と課題について
- ② 令和4年度の取組みの成果と報告
- ③ 熟議「桔梗が丘中学校の特色ある行事や取組について」
- ④ 令和4年度 学校運営協議会評価書について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校課題について共有し、取組についての意見をいただきました。
- ② 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



①学校運営協議会

（2）【学校支援の充実】

- ① 部活動支援として、茶道部で2名の方に、手話サークルで8名の方にご協力いただいています。
- ② 登下校時の交通安全立ち番に、ボランティアとして地域の皆さんに協力いただきました。
- ③ あいさつボランティアとしてお昼休みに校舎内で挨拶活動をしていただきました。
- ④ 授業風景を見学していただき、実際の生徒の様子から学校支援に協力いただきました。



①部活動支援

（3）【地域貢献の場づくり】

- ① 地域行事へ音楽部が出演し、コンサートを行いました。

② 地域の自治会と協働し、防災訓練を地域の皆さんと一緒に実施しました。



①コンサート



②防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営にかかわる意見をいただき、子どもたちがよりよい学校生活を送るために反映することができました。
- ◇昨年に引き続き、防災訓練を地域の皆さんと協力して実施できたことで、継続した地域の方々との関わりをつくることができました。
- ◇地域の皆さんと中学生の交流が増えることで、登下校など学校外においても安全・安心してすごすことができる環境をつくることができました。
- ◇地域の皆さんが生徒と直接かかわる機会を設けることで、学校の様子や生徒の様子を知っていただくことができました。

【課題】

- ◆様々な協議を行いましたが、本年度は学校運営協議会を中心とした取組の提案をするには至らず、来年度からの取組となりました。
- ◆学校運営協議会では学校からの報告が多く、意見をいただく場面や議論を行う時間の確保が十分にできませんでした。

4. 学校運営協議会の組織図



北中学校

1. 学校運営協議会の開催

北中校区学校運営協議会連絡会〈令和4年4月28日（金）10時～11時30分〉

- ・北中校区4校の学校運営協議会会長と学校長による連絡会を実施し、各運営協議会の取組の共有化と今年度の方向性を確認しました。

【第1回】部会長会議〈令和4年5月20日（金）10時～11時〉

- ・第1回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組の方向性の共有化



北中校区
学校運営協議会連絡会

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月3日（金）9時45分～12時〉

- ① 委員の委嘱と名張市「学校運営協議会規則」について
- ② 委員紹介、会長・副会長選出 各部会長の承認
- ③ 本年度の学校経営方針及び学校経営計画の承認について
- ④ 校区内4校での学校運営協議会連絡会での協議内容の報告について
- ⑤ 小中一貫教育にかかわる進捗状況について
- ⑥ 各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組について
- ⑦ 各部会による協議と全体共有

【第2回】部会長会議〈令和4年7月15日（金）10時～11時〉

- ・第1回学校運営協議会での熟議内容の検討（特に生徒の地域防災参加について）と各委員への報告内容について

【第3回】部会長会議〈令和4年10月6日（木）10時～11時〉

- ・第2回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組内容の共有化

【第2回】学校運営協議会〈令和4年11月4日（金）10時～11時30分〉

- ① 学校生活にかかわる生徒の様子について
- ② 各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組報告
- ③ 各部会での協議、下半期の具体的な取組の確認
- ④ 来年度の委員数の削減について

【第4回】部会長会議〈令和5年1月23日（月）10時～11時〉

- ・第3回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組総括の共有化

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月10日（金）10時～11時30分〉

- ① 本年度の実施結果及び成果と課題
- ② 学校自己評価について
- ③ 来年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校運営（基本方針等）の承認
- ② 生徒の地域参加についての熟議
- ③ 各部会での取組
 - ・学校運営部会
外部評価、校区内小学校の学校運営協議会との連携
 - ・学校支援部会
環境美化、通学路の安全点検、学習支援・部活動支援
 - ・地域連携部会
地域防災活動への生徒参加支援、各まちづくり組織との連携
- ④ 学校運営部会を中心に「学校評価」についての協議を行い、まとめる予定。



①学校運営協議会

(2)【学校支援の充実】

①学習支援

学校支援部会を中心に夏季休業中に学習のサポートをしていただいた。基礎学力の向上だけでなく特に「夏休みの課題」を完成させる生徒も多く、不安なく新学期を迎えることに繋がった。和気あいあいとした雰囲気、学習の支援だけでなく、地域の方との交流の場にもなっているようである。



①学習支援

②部活動の支援

美術部や剣道部、茶道部については、学校支援ボランティアの方を中心に、専門的な指導をいただいている。特に美術部や茶道部では、文化発表会での展示作品を完成させることができた。



③交通安全

③交通安全

夏季休業中、保護者や地域、関係機関等が集まり実施した通学路点検において、特に危険と思われる場所を中心に交通安全週間に合わせ交通安全指導を実施した。また生徒の自転車がパンクした際には、学校支援ボランティアさんがすぐに駆け付け、自転車の修理をいただいている。



④環境整備

④環境整備

P T AのO BやO Gを中心に学校支援のために結成されている「北斗会」の方々によりP T A環境美化作業に合わせ、中庭の整備をしていただいた。整備された中庭で、ウインドアンサンブル部が保護者、地域の方を招き「中庭コンサート」を行うことができた。



④中庭コンサート

(3)【地域貢献の場づくり】

地域防災活動への生徒参加

11月19日(土)に実施された名張市総合防災訓練では、生徒会本部役員を中心に地域の方とともに避難所運営訓練に参加し、地域割りや簡易テントの設営など運営の一員として活躍した。昨年度より参加生徒数や分担内容も増え、またその様子をオンラインシステム zoom を活用し、全校



①地域防災活動への参画

生徒で防災学習を行った。生徒たちにとっては、災害時に地域の一人として何ができるかを考える機会となった。

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営協議会を中心に、学校の現状、運営の方針を理解いただけたことにより、成果だけでなく課題となっている事にも多様な視点から示唆をいただくことができています。
- ◇学校が支援してほしい内容や校区内の3つの地域が進めている地域づくりのビジョンについて、理解を深めることができました。
- ◇学校運営協議会での熟議を通して、子どもたちの将来像を共有し、学校運営協議会内に学校運営部会、学校支援部会、地域連携部会の3つの部会を設置し、各委員が分担することで具体的な動きとなり、名張版コミュニティ・スクール3本の柱に関わり、各委員のみなさんが自分事として具体的な取組を実施することができているようになってきました。
- ◇学習支援部会により夏季休業中に実施した学習会では、基礎学力の向上だけでなく、新学期を迎えるにあたり、課題が完成せず不安を持つ生徒が少なからずいる中、多くの生徒が参加し課題を完成させ不安を払拭し新学期を迎えることにも繋がりました。
- ◇校区内各小学校の学校運営協議会との連携も必要であることをふまえ、北中校区4校の各運営協議会会長と学校長が集まり、北中校区学校運営協議会連絡会を開催することができました。

【課題】

- ◆学校運営協議会のメンバーに、各まちづくり協議会の会長や委員が所属していただいていることから、それぞれの地域が主催する行事に、子どもたちが参加し活動する場が増えるとともに、学校や子どもたちの様子を地域に知っていただく機会としたかったが、新型コロナ・ウイルス感染症の影響もあり、子どもたちが地域に出て行くことが難しい状況になってしまいました。
- ◆今後、コロナ禍の中で新しい生活様式をふまえ、どのような形で地域貢献を進めていくことができるのかを考えていく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和4年6月1日（水）10時～12時〉

- ① 授業参観
- ② 挨拶（南中学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 運営協議委員の自己紹介・協議会規則等の確認
- ④ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ⑤ プログラミング教育について
- ⑥ 国際交流イベントについて
- ⑦ 人権講演会・文化発表会について
- ⑧ 地域防災訓練参加について
- ⑨ つつじっ子会議について

【第2回】学校運営協議会〈令和4年10月6日（木）13時30分～15時30分〉
会場：南中学校

- ① 授業参観
- ② 挨拶（つつじが丘小学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ④ プログラミング教育について
- ⑤ 国際交流イベントについて
- ⑥ 人権講演会・文化発表会について
- ⑦ 地域防災訓練参加について
- ⑧ つつじっ子会議について

【第3回】学校運営協議会〈令和5年2月9日（木）14時45分～15時45分〉
会場：つつじが丘小学校

- ① 授業参観
- ② 挨拶（つつじが丘小学校長より・運営協議会会長より）
- ③ 子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- ④ 小中一貫教育に関わるアンケート
- ⑤ 学校評価（各学校より）
- ⑥ 本年度の取組の反省と課題について
- ⑦ 学校評価書

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 基本方針等の説明をし、承認をいただき、確認を行いました。
- ② 学校課題についての協議を行い、今後の方向性を話し合うことができました。
（子どもの様子について、授業について、プログラミング教育、交通安全等について、
学校施設トイレについて）
- ③ 南中学校区の小中一貫教育、外国語活動・英語教育の取組のまとめである国際交流イベントや防災学習は、小学校と中学校が別開催で取り組みました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



②学校運営協議会
(小学校からの報告)



②学校運営協議会
(中学校からの報告)



②学校運営協議会 (協議)



③中1 防災学習



③中1 プログラミング学習



③国際交流イベント (小学校)



③国際交流イベント (小学校)



③国際交流イベント (小学校)

(2)【学校支援の充実】

- ① 小中一貫教育への支援をいただきました。
- ② ふれあい隊による清掃支援や更生保護女性会によるあいさつ運動の協力をいただきました。
- ③ クラブ・部活動への支援をいただきました。
- ④ 校内の草刈りや剪定作業等の環境整備をしていただきました。
- ⑤ 図書館整備等の支援をいただきました。
- ⑥ 紙芝居を行っていただきました。
- ⑦ 折り紙教室を行っていただきました。
- ⑧ コアラさんによる登校指導及び安全パトロールを行っていただきました。
- ⑨ つつじが丘・春日丘自治連合会の皆さまによる、交通標語募集の協力をいただきました。



②交通標語表彰式（小学校）



②地域標語表彰式（中学校）



⑦折り紙教室

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① つつじっ子会議を実施し、あいさつ運動について話し合いました。
- ② 中学生が学校で、地域のマスコット「えみらる」と朝のあいさつ運動を実施しました。
- ③ 小学生が学校で朝のあいさつ運動をしました。
- ④ つつじが丘・春日丘自治連合会の皆さまによる、地域と協働のあいさつ運動を実施すると共に、交通標語・あいさつ標語の作成、設置に協力いただきました。
- ⑤ 地域の方とともに考え行動する「地域をよくするプロジェクト」として、小学生が自治連合会やコアラの人たちと、地域をよりよくするための方法やアイデアについて懇談し、提案や発表をしました。



①拡大つつじっ子会議



②あいさつ運動（中学校）



③あいさつ運動（小学校）



⑤地域をよくするプロジェクト

3. 成果と課題

【成果】

- ◇本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、活動を制限したり、形を変えたりする等、実施してきた行事もありましたが、昨年度に比べると、運営協議会の会議も含めて、実施できる行事が増えました。
- ◇近大高専の協力をいただきながらコミュニティ・スクールの取組の一環として実施するプログラミング教室についても、昨年度に引き続き、本年度も、近大高専の教員や学生に小中学校に来校していただき、各クラス別に実施していただきました。小学校はスクラッチというソフトを中心に学び、中学校はマイクロビットやドローンの制御などを学びました。学習内容も小中がつながるような中身にすることができました。
- ◇つつじっ子会議では、今年度の取組の中心としてあいさつをテーマに据え、「あいさつが あられる地域にしていこう」と活動を進めています。小中での子どもたちの運動は、新型コロナウイルス感染症の影響も考え、合同では実施せずに、小中学校それぞれで実施することになりました。また、2 学期の終わりには、中学校のつつじっ子会議メンバーが地域に出向いて、地域の方とともにあいさつ運動を実施しました。
- ◇小学校では、昨年度の学校運営協議会で地域貢献として発案された校区内の横断旗作成による交通安全意識を高める取組について検討し、“地域をよくするプロジェクト”として年間を通して取り組んできています。交通安全だけでなく、地域の課題について児童自らが考え、地域の方とともに課題解決をしていく取組として進めてきました。地域の商店街活性化のためのマップづくりや交通安全意識の高揚のためのグッズの制作、横断旗の制作、サル被害にあわないための看板づくりや町のゴミ問題等、地域の方に助言をいただきながら継続して取り組んでいます。

【課題】

- ◆「国際交流イベント」について昨年度は中止となりましたが、本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を考慮し、小中別々に開催することとなりました。これまで、土曜日に実施していたことや、準備等に時間がかかるということもあり、見直すことも検討しています。来年度については、実施するかしないかも含めて、現時点では開催は未定です。
- ◆名張市総合防災訓練時に、自治連合会主催の地域防災訓練に数年前より小中学生がともに参加して行ってきましたが、本年度は中学生のみが地域の防災訓練に参加し、小学生は学校で避難訓練を実施しました。

4. 学校運営協議会の組織図

南中学校区では小学校と中学校の教職員が4つの部会に分かれて、小中一貫教育を実施しています。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催しています。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っています。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいています。



コミュニティ・スクールだより

第34号

名張市教育委員会事務局発行
令和4（2022）年10月5日

「CSカレンダー」が有効！

令和4年度の下半期が始まりました。各校でのコミュニティ・スクールの取組は、それぞれの学校で独自色が出てきました。どの学校でも経営方針に基づいた具体的な取組が進められています。

取組を進める中で見てきたことは、「学校全体として、いつ、どの学年が、どのような活動をしているのか（しようとしているのか）分かりにくい」という点です。中には、これまで継続してきた取組が、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて途絶えてしまい、ご支援いただいている方が分からなくなっているなど、引継ぎに課題が見られるケースもあります。

このような状況下において、市内の小中学校で、教職員をはじめ地域住民、保護者等に、誰でも一目でわかるようにと、コミュニティ・スクールに関する取組の年間計画（「CSカレンダー」）を整理する取組が進められています。今回は、その一部を紹介します。

〇箕曲小学校（一部抜粋して掲載）

	4月	5月	6月
学校	授業参観 PTA総会 (4/22)	田植え(6/9) 遠足(6/17) こまつ酒席 (6/19-6/14) クラブ活動 (6/23)	クラブ活動 (6/20) 全校集会 (6/22) 学校運動会 (6/24)
PTA 家庭	PTA総会(4/22) 【書道決選】 【書道決選】 【書道決選】 【書道決選】	運動会(5/28) 田植え(6/9)	交通安全教室 6/9
地域	お楽しみ会(4/22) 【書道決選】 【書道決選】 【書道決選】 【書道決選】	田植え(6/9) 遠足(6/17) おまつり酒席(6/19-6/14) お楽しみ会(6/23)	プール開き(6/20) お楽しみ会(6/24)

「学校」「PTA・家庭」「地域」それぞれの立場から、月別取組内容を明記！

作成にあたっての校長の意図・ねらい

- ・学校としてのCSの取組の取組像を全教職員で把握したい。
- ・各取組の関連性を見える化し、内容を精選したい。
- ・地域の方にも共有していただきたい。

〇蔵持小学校（一部抜粋して掲載）

	9月	10月	11月	12月
1年	香餅作り 運動会 PTA総会	学年開き	センター開校式	
2年	特別活動 CSの創り方教室	おもてなしプロジェクト （ひたまり）	ひたまり	ひたまり
3年	お楽しみ会			
6年	運動会			
学校全体	PTA総会			

全学年の取組内容を月別に明記。学校全体に関わる取組は別枠で！

作成にあたっての校長の意図・ねらい

- ・計画的に余裕をもって取組を進めたい。
- ・各取組の確実な引継ぎにつなげたい。
- ・教職員が地域を知るきっかけにしたい。

「CSカレンダー」が有効な点

「社会に開かれた教育課程」
～カリキュラム・マネジメント～

・学校と地域の協働取組の全体像が見える

一部の学年や特定の時期だけでなく、学校全体の年間を通じた取組を「見える化」することで、学校内だけでなく学校と地域等との情報共有が進むとともに、教科との関連性を含めた内容の確認・精選が可能になります。

・計画的な取組ができる

「いつ、何をやる」という具体が見えることで、関係する全ての人が見通しをもって準備や活動に当たることができ、活動に余裕が生まれます。特に新しく担当することになった職員や地域の方にとって、活動のヒントになります。

・持続的な取組が可能になる

取組を「見える化」することで、関わっていただく方が増えるとともに、CSについての理解度が高まり、継続した取組につながることを期待できます。

作成校からの声！（箕曲小）

- ・教職員をはじめ保護者や地域の方が新年度当初に見通しをもってスタートすることができるようになった。
- ・学校運営協議会委員も含め、地域の方にもたいへん好評。
- ・今まで教職員が知らなかった地域の動きを知ることができ、地域行事への参加のきっかけとなった。

作成校からの声！（蔵持小）

- ・学校運営協議会で出された多数の取組案を整理したことがきっかけ。
- ・市民センターにも掲示していただいております。
- ・市民センターをはじめ、外部との行合も機を逸することなくスムーズに行うことができるようになった。
- ・全職員が随時更新できるようにしたい。

作成のポイント！

- ・学校や児童生徒、地域の課題を的確に捉えている。
- ・校長の意図・ねらいが表れている。

コミュニティ・スクールだより

第35号

名張市教育委員会事務局発行
令和5（2023）年2月10日

「意図」が見える コミュニティ・スクールの取組へ

充実したCSに向けて「意図」や「思い」の共有！

市内の小中学校では、新型コロナウイルス感染症が拡大して以降、授業参観や学校行事等、地域から来校いただく機会が減っています。同時に、地域の方と学校が互いの思いを共有する機会も、少なくなっています。コミュニティ・スクール（以下、「CS」）の取組には地域の方の参画が欠かせません。学校の課題を把握する中で、「この取組でどのような力を子どもたちに身に付けさせたい」など、取組に込められた「意図」や「思い」を学校と地域が共有することで、実践後の子どもとの姿が違ってきます。より効果的な取組にするためにも、常日頃から学校と地域住民や保護者との密な情報共有が重要となってきています。

CSと一体的に取り組む

「地域学校協働活動」とは・・・

地域づくり組織等において進める「地域学校協働活動」とは、地域住民、保護者、企業等、幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「子どもを核とした地域づくり」を目指して、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。

＜地域学校協働活動の例＞

学びによるまちづくり・地域課題解決学習・郷土学習 <ul style="list-style-type: none">●地域資源を整理し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方法を考え、実行する学習活動●「ふるごと」について地域住民から学び、自ら活動について調べたり発表したりする学習活動●地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸術学習 など	放課後子ども教室 <ul style="list-style-type: none">●地域住民の参画を得て、放課後等し全での児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動	地域未来塾 <ul style="list-style-type: none">●全ての児童生徒を対象に、教員ORや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援
家庭教育支援活動 <ul style="list-style-type: none">●寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など	学校に対する多様な協力活動 <ul style="list-style-type: none">●校下校の見守り、志望や進学等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や運動会の支援、企業等による出張授業等の教育プログラムの提供 など	地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画 <ul style="list-style-type: none">●地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸術の発表や演劇の発表、地域の歴史や文化の発信への参画 など

（文部科学省「これからの学校と地域」より）

文部科学省ではCSと地域学校協働活動の一体的推進を推奨！

学校運営協議会への教職員参加の工夫



全教職員参加の学校運営協議会（鹿原小学校）

学校運営協議会への学校側の参加者は、校長・教頭の管理職と一部の担当教職員というものが、多く見られます。教職員参加が進むことによって、学校と地域の関係性が向上する他、各種取組のスピード感や当事者意識も向上することが期待されます。

市内では、複数の学校で開催時期や時間等を工夫し、できるだけ多くの教職員が参加できるようにする動きが見られます。鹿原小学校では、夏季休業期間中に、全教職員参加の学校運営協議会が開催され、子どもたちと触れ合う中で感じたことを、伝え合う機会を持ちました。学校運営協議会委員から出された意見をいくつか紹介します。

- ・「グングン先生」（子どもたちへの学習指導補助）では…（中略）…やり方を教えてできるようになったときにとても喜んでくれる。自分も嬉しく、やりがいがある。」
- ・「センター職員が草刈りや花壇の整備をするので、いつでも言うてほしい。」
- ・「ボランティアの活動は本当に楽しい！」

鹿原小学校の他、蔵持小学校、箕曲小学校、比奈知小学校においても、学校運営協議会への教職員の積極的な参加の取組が行われています。

コミュニティ・スクールだより

第36号 名張市教育委員会事務局発行
令和5(2023)年 2月22日

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進へ

「文部科学大臣表彰受賞」

～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進～

児童の課題に基づいた「熟議」



箕曲小学校のコミュニティ・スクールとしての取組が文部科学大臣賞を受賞しました。箕曲小学校学校運営協議会（以下、「協議会」）では箕曲地域づくり委員会と一体となり、地域学校協働活動をはじめとする様々な取組が行われていきました。この度、協議会と地域学校協働活動の取組について審査が行われ、受賞が決定しました。

まず、協議会の取組についてです。箕曲小学校の協議会において大切にされていることは、「課題解決に向けて、協議会としてできることは何か検討すること」です。具体的には、子どもたちの自己肯定感・有用感を高めるために、どのような手立かが考えられるのか、委員それぞれが意見を申し出ました。

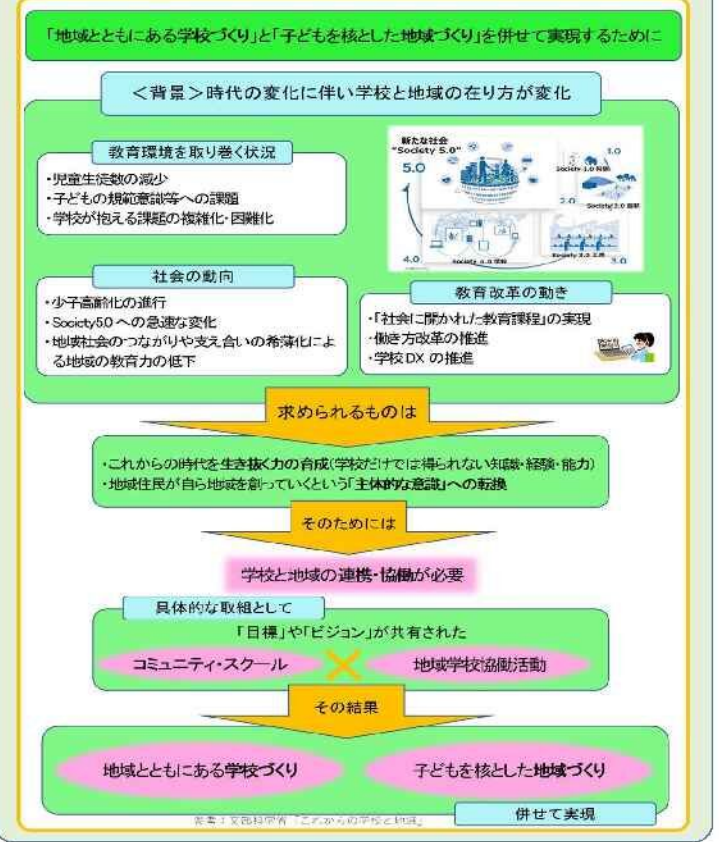
協議会と一体となって実施された「地域学校協働活動」

次に「地域学校協働活動」についてです。箕曲小学校の課題である自己肯定感・有用感の向上をねらいとした、協議会と地域の一体となった取組が「みのりお換の旅」です。これまで個別の行事として実施されていた複数の行事を取り込むことで、より多様な経験・経験を通じて、自己肯定感・有用感の向上につなげられるよう工夫もされました。具体的には異学年で構成されたグループで校区内に設置された5つのチェックポイントを巡り、各ポイントで地域コーディネーターが認定した説明担当ボランティアから、歴史や地域の想いを聞かせていただきました。あわせて道中は見守りボランティアが同行し安全を確保しながら、一緒に清掃活動にも取り組めました。取組を進めるにあたり、地域コーディネーターが学校と地域の橋渡し役となり活動することで、効果的に進めることができています。名張市では現在、地域コーディネーターに代わる立場として「地域学校協働活動推進員」の設置に向けて準備を進めています。



なぜ今、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動？

近年、学校と地域を取り巻く課題が複雑化、多様化しています。「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という学習指導要領の目標を学校と地域が共有し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に関わった教育課程」の実現に向けて、学校と地域が連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、一体となって子どもたちの成長を支えていくことが必要です。



コミュニティ・スクールだより

第37号 名張市教育委員会事務局発行
令和5(2023)年 2月28日

名張市小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 開催！

【第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会】

キーワードは「当事者意識」



令和4年11月1日(火)、第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会（以下、協議会）が開催されました。この協議会は、地域づくり代表、保護者代表、中学校区代表校長、教頭代表、教職員代表、事務局職員で構成され、各学校の取組の進捗状況や課題を共有し、今後の推進や方向性について検討する目的で開催しています。

まず、コミュニティ・スクール（以下、CS）と小中一貫教育の進捗状況について、事務局からの報告後があった後、2グループに分かれて、熟議を行いました。多くの建設的な意見が出される中で、子どもも保護者も地域も、「お客さん」にならない（しない）ことが重要であり、関わる人々の当事者意識をいかに高めていくかが今後の課題であると提起されました。また、見える化された年間の活動予定を、学校、地域、保護者の三者が共有することで、計画的な活動につながり、さらに担当者（組織）を明確にすることで、責任感が高まるとの意見が出されました。あわせて、関わった取組が子どもたちの成長にどのようにつながっているかが明記されると、関わった者の自己有用感も高まるのではないかと意見も出されました。

【第2回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会】



令和5年2月10日(金)、第2回協議会が開催されました。この協議会には、山口県地域連携教育工キスパートの木本育夫さんに名張市までお越しいただき、ご講演いただきました。木本さんには、これまで名張市のCS推進に多くの助言をいただいております。今回CSを推進・充実させていくために必要なことについて、改めて教えていただきました。

1.講演「未来を共に創る これからの学校と地域」

（山口県地域連携教育工キスパート 木本育夫さん）



名張市では市内全小中学校がCSとなって3年目となり、CSを基盤とした小中一貫教育に取り組んでいます。それぞれの学校によって、知恵を出し合い地域の特色をいかした取組を充実させています。しかしながら、進捗の状況や取組の深まりに温度差が見られることも事実です。そこで、今後の取組を充実させていくために、木本さんから上記テーマに基づいてご講演いただきました。

<木本さんの言葉>（一部抜粋）

- 「小中を切らない。9年間という意識を持つ。」
- 「CSは漢方薬のようなもの。じわじわ子どもに効いてくる。」
- 「CSIに完成形はない。まず、本年度を振り返り、課題を見つけ、来年度に繋いでいく。」
- 「できることを、できる範囲で、一歩ずつ進める。まずは、楽しく！」
- 「学校によって現状や課題等は違う。その学校らしさはいかに。」
- 「教職員の異動に左右されない学校と地域の関係をつくる。」
- 「地域、保護者の意見が届きやすい仕組みづくりが必要。」
- 「学校運営協議会に至るまでのコミュニケーションを大切に。」

2.グループで討議

木本さんの講演を受けて、「CSをさらに推進・充実させるために大切にしたいこと」～すべての関係者の視点から～というテーマで、グループ討議を行いました。出された意見の一部を紹介します。



<討議で出された意見>（一部抜粋）

- 「中学校区で、めざす子ども像、校区像を共有する。」
- 「先生方の思いをもっと知って、共に進んでいきたい。」
- 「これから色々なことができて、わくわくする。」
- 「無理せず、楽しく取り組んでいきたい。」
- 「子どもの変容を周囲が共有することが大切だ。」
- 「当事者意識を今後も高めていく必要がある。」
- 「地域学校協働活動推進員の設置が必要だ。」

3.西山教育長からのメッセージ



協議会閉会にあたり、西山教育長よりメッセージを頂戴しました。

- 「伝えていただいたキーワードを自分事として理解し、自分の言葉で語ること。そして行動に結び付けていく。」
- 「9年間の学びと育ちを意識し計画表を作っているか？」
- 「苦しさの中にも、楽しいと感じることを大切に。」
- 「絶えず耕し続け、新しい空気を入れる。そこに、根は育つ！」

YouTube限定配信

協議会の様子はYouTubeを通じて、教職員及びコミュニティ・スクールに関わる皆様を対象として、限定配信します。詳細は別途、お知らせいたします。ぜひ、ご覧ください！